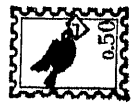


告知



毎年行ってきた周年の際のイベントですが、今年はもちろん定休日という事もあり、開催いたしません。

来年以降も開催するかどうかはわかりません。正直、通常営業でいい感じのイベント、特別なパンですか、限定BOXなどのプラスαを作るスペースや時間がなにも理由のひとつですが、最大の理由は僕の思う主旨と大きく遺脱してきたというのが原因です。

毎年虚無感におそわれ、「もう辞めよう」と思ったり、お客様からの「思い言葉でやっばりやて良かった」と思い返してきたのですが、昨年で糸が切れました。イベントが無くて私も私達にとっては大切な誕生日。大切に過ごしたいと思えます。この店を愛して下さる皆様への感謝と共に...

Le Sucre-Coeur 通信
 2008・4・5 NO. 30
<http://www.lesucrecoeur.com>
 tel & fax: 06-6384-7901

暖かくなってきたと思ったら、一足飛びて桜の開花。春の到来...と思ったら花冷えの続く今日この頃。出会いと別れの季節に

シユクレも3年支えてくれた職人が辞めることになりました。彼に助けられた分、

僕は何を彼に返せたのだろうか...と自問自答。

いつか、彼が自らの道を歩き、僕にその答えを提示してくれることを期待しています。

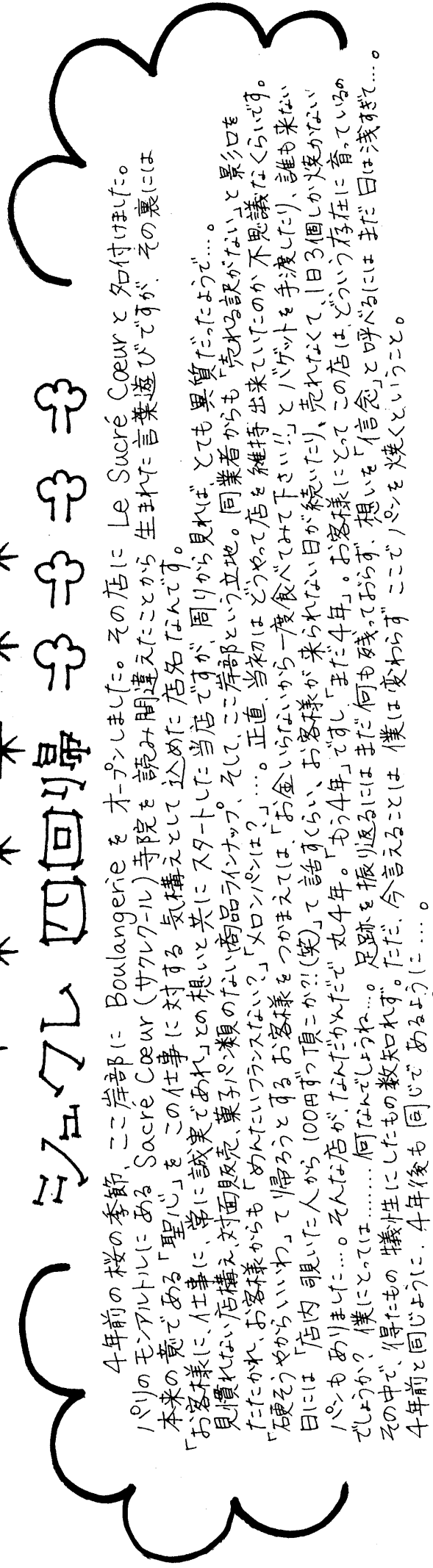
その代わりと云っては何ですが、桜のように可憐な?! 3人娘が入店します。

そろそろ「ほぼ」未経験(笑) 今年以上に大変になるかと思いますが、何卒、温かく見守って下さい。

店主

シユクレニュース # 冷凍ストッカー 盗まれる!!

店の裏口に置いていた、大型の冷凍ストッカーがある朝なくなりました。「????」でした。この辺、確かに物騒なんです。冷凍ストッカー 新品で買ったものが、4万なんです。それをね、僕らがいけなくなる時間を調べたり、一歩間違れば、犯罪者としてつかまったり、中に入ってるものを寒い中外に出したり(一部 持て行かれましたが) 少なくとも二人分の人件費と、ストッカーをのせるトラックの手配。..... どう考えても 割りが合わないと思うのですが、その劣力があるなら、ちゃんと働かして買えば!!



4年前の桜の季節、ここ岸部に Boulangerie をオープンしました。その店に Le Sucre Coeur と名付けました。パリのモンパルトルにある Sacré Coeur (サクレクール) 寺院を読み間違えたことから 生粋な言葉遊びですが、その裏には本来の意である「聖心」との想いと共にスタートした当店ですが、周りから見れば、とても異質だったように...

「お客様に、仕事に、常に誠実であれ」との想いと、菓子パン類のふいふ商品ラインナップ、そして、ここ岸部という立地。同業者からも「売れる訳がない」と景況を見慣れたふいふ店構え、菓子パン販売、菓子パン販売、菓子パン販売...。正直、当初はどうか? 「お金はいらないから一度食べさせてみて下さい」とバゲットを手渡したり、誰も来ない「硬そうやからいいわ」と帰ろうとするお客様から「めんとにフランスない?」「メロンパンは?」...。正直、当初はどうか? 「お金はいらないから一度食べさせてみて下さい」とバゲットを手渡したり、誰も来ない日には「店内覗いた人から100円頂戴か?!(笑)」て話すくらい、お客様が来られな日が続いたり、1日3個しか焼かれないパンもありました...。そんな店が、たまたま「お金のないから一度食べさせてみて下さい」とバゲットを手渡したり、誰も来ないでしようか? 僕にとっては...。何なんでしょうね...。足跡を振り返るにはまだ何も残しておらず、想いを「信念」と呼べるにはまだ日は浅すぎ...。その中で、得たもの 犠牲性にしたもの数知れず。ただ、今言えることは 僕は変わらなず、ここでパンを焼くということ。4年前と同じように、4年後も同じで あるように...